

セムコープ・インダストリーズ

海外の電力市場に進出、長期収益の改善が期待される

シンガポール | インフラ事業 | 業績レビュー |

BLOOMBERG SCI:SP | REUTERS SCIL:SI

- 2016/12 期 4Q (10-12 月) は、売上高が前年同期比 16.2%減の 20.26 億 SGD となった。コストの削減などから、営業利益が 2.92 億 SGD と前年同期の▲1.94 億 SGD から黒字に転じた。純利益は同 2.4 倍の 1.47 億 SGD となった。
- 事業別の純利益では、コスト増から増収となった主力のインフラ事業が減益。マリーナ事業や都市開発事業は何れも 2 桁増益だった。
- 2017/12 通期の市場予想は売上高が前期比 0.3%減の 78.84 億 SGD、純利益が同 12.9%増の 4.45 億 SGD である。

What is the news?

2016/12 期 4Q は、売上高が前年同期比 16.2%減の 20.26 億 SGD となった。主力のインフラ事業は同 13.9%増収の 11.23 億 SGD と好調に推移したが、マリーナ事業は同 37.5%減収と全体の売上高を押し下げた。また、都市開発やその他事業はそれぞれ減収となった。ただ、コストの削減などから、営業利益が 2.92 億 SGD と前年同期の▲1.94 億 SGD から黒字に転じた。純利益は同 2.4 倍の 1.47 億 SGD となった。

事業別の純利益は、主力のインフラ事業は前年同期比 77.4%減益の 8,920 億 SGD となった。マリーナ事業は 2,100 万 SGD と前年同期▲3.27 億 SGD から黒字に転じた。都市開発事業は同 70.6%増益の 1,810 万 SGD となった。

地域別の売上高では、主力のシンガポールは同 14.4%増収の 7.30 億 SGD、中国が同 27.3%増収の 6,720 万 SGD と何れも好調に推移した。一方、売上構成比の高いインドは同 6.5%減の 1.65 億 SGD、中東&アフリカ、英国&米州もそれぞれ減収となった。

How do we view this?

同社は、海外への進出も注力している。子会社の Sembcorp Utilities を通じてミャンマー電力省の傘下となるミャンマー電力エンタープライズ (MEPE) より、225 メガワットのガス火力発電所を建設・運営するための認可を得た。MEPE はミャンマー最大のガス火力発電所となることが見込まれ、発電所は 2017 年に完成する予定である。ミャンマー経済は急成長しており、電力需要の拡大が見込まれるポテンシャルの高い市場であることから同社の今後の業績動向が注目される。主力のマリーナ事業では 2019 年までに 114 億 SGD の受注が決定した。2017/12 通期の市場予想は売上高が前期比 0.3%減の 78.84 億 SGD、純利益が同 12.9%増の 4.45 億 SGD である。

業績推移

※参考レート 1SGD=79.51円

事業年度	2014/12	2015/12	2016/12	2017/12F	2018/12F
売上高(百万SGD)	10,894	9,544	7,907	7,884	8,666
純利益(百万SGD)	801	548	394	445	525
EPS(SGD)	0.44	0.29	0.20	0.25	0.29
PER(倍)	7.16	10.86	15.75	12.60	10.86
BPS(SGD)	3.03	3.15	3.30	3.72	3.91
PBR(倍)	1.04	1.00	0.95	0.85	0.81
配当(SGD)	0.16	0.11	0.08	0.09	0.10
配当利回り(%)	5.08	3.49	2.54	2.86	3.17

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

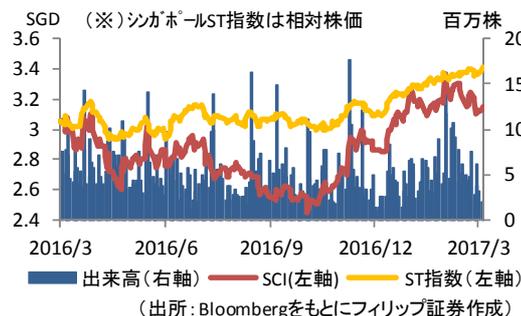
配当予想(SGD)	0.09	(予想はBloomberg)
終値(SGD)	3.15	2017/3/28

会社概要

1998年に設立したエンジニアリング会社である。シンガポールの他は、6大陸において、電力・ガス・蒸気・水力などのインフラ事業、マリーナ事業、都市開発を手掛ける。5,600メガワットの総電力容量を備えた施設や一日当たり700万立方メートルの水を稼働する施設を保有する。海洋事業では船舶修理、造船、改装、掘削装置組立の他、オフショアエンジニアリングでは船の甲板上の製造を含め、海洋土木の修理や建設を展開しており、グループ会社で「Sembcorp Marine」が上場している。

企業データ(2017/3/28)

ベータ値	1.40
時価総額(百万SGD)	5,638
企業価値=EV(百万SGD)	15,122
3ヵ月平均売買代金(百万SGD)	15,486



主要株主(2017/3)

	(%)
1. Temasek Holdings Private	49.54
2. Mondrian Investment partners	4.94
3. Norges Bank Investment Management	1.16

アナリスト

袁鳴

ming.yuan@phillip.co.jp

+81 3 3666 0707

庵原 浩樹

hiroki.i.hara@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元：フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者：公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

フィリップ証券 リサーチ部 アナリスト 袁 鳴

フィリップ証券 リサーチ部 アナリスト 北浦優子

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。